



米商進路だより

令和5年5月8日発行
山形県立米沢商業高等学校
進路指導部（第4号）

《 令和6年3月就新規高等学校卒業者の就職状況 》

5月に入りました。進路希望調査の結果についてハローワーク等の公的機関への報告が終了しています。各校からの就職希望状況等を踏まえて、企業は求人を検討してくれるものと思われます。少子化や進学率等の上昇で、思うように高卒採用者を獲得できていないのが現状であり、本校進路指導部としては今年も売り手市場（高校生有利）になると予測しています。

期日	曜日	内容
6月 1日	木	ハローワークによる求人申込書の受付開始
7月 1日	土	企業による学校への求人申込及び学校訪問開始
7月 5日	水	本校の求人票公開日
9月 5日	火	学校から企業への生徒の応募書類提出開始
9月16日	土	就職試験開始（全国統一）

※9月16日は土曜日ですが就職試験は解禁となります。

《 県内の高校生就職内定率 97.4% 10年ぶりに 98%割り込む 》

山形労働局は令和5年3月30日、今春卒業の県内高校生の就職内定率（2月末現在）が、前年同期を0.7ポイント下回る97.4%になったと発表した。同時期としては2013年の97.3%以来、10年ぶりに98%を割り込んだ。一方、人手不足を背景に求人数は増加し、求人倍率は3.91倍で前年同期比で0.63ポイント上昇している。少子化や進学率の上昇などで就職希望者は減少しており、企業側の人材確保難が依然として続いている。

県内企業の求人数は6479人で、前年より14.8%増加している。主要産業別では、製造業が17.8%増の2232人、建設業が0.6%増の1318人、運輸・郵便業が61.7%増の742人、卸・小売業が7.6%増の664人などとなっている。

地域別の就職内定率は、村山97.2%、最上94.5%、庄内98.0%、置賜97.5%。県内求人倍率は村山4.04倍、最上4.11倍、庄内3.61倍、置賜3.94倍だった。

山形新聞に掲載された記事です。置賜地区の求人倍率は3.94倍であり4倍に迫る高い数値になっています。すべての企業で採用がある訳ではありませんが、製造業を中心に業績が好調を維持していることから若い人財（人材）を必要としている企業が多くあるのが現状です。つまり、高卒の皆さんにとっては大きなチャンスであることを理解する必要があるのです。

大型連休以降に、大学・短大・専門学校のオープンキャンパスが本格化します。3年生を対象にする学校だけでなく、1・2年生にも早期に興味関心を持ってもらうことを念頭に開催するケースが増えていますので、進学を視野に入れている人は、ご家族で相談して参加してみたいはいかがでしょうか。「百聞は一見に如かず」で、新たな発見をすることで参考になるところが大いにあるはずです。

《 駅長オススの小さな旅で「文化部が一致団結」 》

令和5年5月4日にJR東日本主催の駅長オススの小さな旅が実施されました。当日は、2004年の映画「スウィングガールズ」のロケ地を見学する等、米沢駅から学校まで徒歩で移動した後に、時間割に沿って「学校探検」をしました。当日は、家庭研究部、吹奏楽部、総合芸術部美術班にも協力をいただき大成功を収めることができました。

商業研究部は、今回の企画立案を担当し参加者の皆様と一緒に街歩きを行いました。家庭研究部は、米の消費量拡大に関する発表および「くるみボタン」のワークショップを実施、さらにパン販売も協力をいただきました。吹奏楽部は、映画スウィングガールズのテーマ曲の「Sing Sing Sing」を発表、練習期間は僅かでしたが威風堂々とした発表は参加者の皆様からも大好評でした。

そして、何よりも参加者の皆様に魅了したのは美術班による黒板アートです。学校の校舎に入るのは、高校卒業以来という宮城県から参加をいただいた60代の女性は山形新幹線を利用して米沢市に到着、校舎に入ると春をテーマにした黒板には桜や山形新幹線が描かれており感動したと嬉しそうに話をしてもらいました。前日、遅くまで準備をしてくれた部員に感謝です。



米沢駅で手作り看板でお出迎え（左・中央） 街歩き（右）



吹奏楽部による発表（左） パン販売（中央） 商業研究部発表（右）



黒板アート（左） ボードゲームで交流（中央） スウィングガールズロケ地（右）